

③次期(第27回)の研究会の開催：来年(平成6年)の6月頃に会員持ち回りの会場で開催することが討議された。

④関西実験動物研究会での話題提供：12月10日、関西実験動物研究会の創立10周年を記念する講演会で岡山実験動物研究会の発足の経緯などの話題提供を行ったことが報告された。話題提供は当研究会の他に信州実験動物研究会、東海実験動物研究会も行った。

なお、常務理事会は4月6日(火)、9月10日(金)の2回、いずれも午後5時30分から岡山大学農学部で開催された。9月10日開催の常務理事会には理事、監事の先生方も出席された。

4月の常務理事会では第25回研究会の企画、立案を行い、9月の常務理事会では第26回研究会の企画、立案を行った。

\*\*\*\*\*

## 社日本実験動物協会からの送付物の紹介

(社)日本実験動物協会から岡山実験動物研究会事務局に日動協会報、実験動物海外技術情報が送付されています。日動協会報 No. 47～No. 52までに掲載された特集記事、資料のタイトルと著者名を以下に示します。

### No. 47 平成5年7月1日発行

水禽類について……………田名部雄一  
アヒルの特性とその利用……………田名部雄一  
アイガモについて……………萬田 正治  
ガチョウについて……………泉 徳和  
参考資料：実験用小型ブタの育種改良について  
……………鳥生 厚夫

### No. 48 平成5年9月1日発行

鳴禽類について……………田名部雄一  
カナリアの系統と品種について……………宇田川龍男  
ブンチョウ(文鳥)……………廣瀬 一雄

### No. 49 平成5年11月1日発行

キジ目の家禽類について……………田名部雄一  
キジ類について……………宇田川龍男  
シチメンチョウについて……………田名部雄一  
ホロホロチョウについて……………白石 幸司

### No. 50 平成6年1月1日発行

〈謹賀新年特集〉

今後の実験動物生産の存り方を検討……………東 久雄  
斯界の発展に微力を……………大河原太郎  
小型な実験用イヌの可能性……………藤田 潯吉  
ライフサイエンス進展に役立つ活動を

……………上松 嘉男  
関係者の協力得て問題解決へ……………高木 博義  
教育・認定制度を見直す……………猪 貴義  
より積極的に行動的に……………前高 一淑

〈戌年に因んで〉

パートナーとしてのイヌ……………経徳 禮文  
乳母犬の役割を見直す……………中川 志郎

「愛すべき仲間、イヌ」……………常井 和男  
資料：実験動物の品質向上に向けて「微生物学的  
品質標示法」がまとまる……………鍵山 直子

### No. 51 平成6年3月1日発行

実験動物としての両生類……………佐藤 徳光  
アフリカツメガエルと分子生物学……………関谷 國男  
免疫研究のモデルとしての両生類……………片岡 千明  
内分泌学・発生学と両生類……………菊山 榮  
再生研究とイモリ……………井上 榮

### No. 52 平成6年5月1日発行

実験動物としての無脊椎動物……………佐藤 徳光  
ショウジョウバエと変異原性試験……………綾木 歳一  
ゾウリムシの行動研究……………高橋三保子  
研究材料としてのウニ……………長内 健治

\*\*\*\*\*

## 実験動物海外技術情報 No. 40～No. 45

実験動物、動物実験に関する記事(抄訳)を抜粋した。

### No. 40 平成5年7月20日発行

注射麻酔に対する実験動物の反応  
母ネコおよびその産子の行動学的研究  
近交系マウスの雄の寿命と生殖行動および体重との関連

$\beta$ -ガラクトシダーゼ発現メラノーマ細胞を用いた  
ヌードマウス腫瘍モデルの評価  
麻酔下のブタの血行力学的なパラメータ：ふつう  
のブタの子およびゲッチングミニブタ・ユカタ

ンミニプタを用いた比較研究  
ES細胞注入キメラのための胚ドナーとしての過排卵マウスの使用

実験動物アレルギー：モニタリングおよびコントロールの観点から

**No. 41 平成5年9月20日発行**

増リンパ球トランスジェニックモデル作出のためのジーンターゲットング技術

実験条件下における動物の痛覚試験の新方法

動物の梱包、輸送および受領の状態について

ニュージーランドホワイノウサギ用雌ケージの改良

生物医学研究用ミニプタ：利用と管理

**No. 42 平成5年11月20日発行**

抱水クロラールおよびクロラローズによる実験動物の麻酔についての再検討

実験用マウスとラットに対するアレルギー：その予防、管理、処置について

アルビノラットと有色ラットにおける光感受性

ラットの社会的行動における動物行動学的研究

実験用サル飼育担当者の労働環境の改善

安全性試験に用いられる実験動物数の低減

**No. 43 平成6年1月20日発行**

可移植腫瘍、細胞株およびモノクローナル抗体のげっ歯類ウイルスによる汚染

ストレプトゾトシン保存用平衡溶液を用いたシリアンゴールデンハムスターにおける糖尿病の誘発  
選択育種された WHHL ウサギの血液学および生化学的プロファイル

ウサギモデルにおける排卵のための性腺刺激ホルモン放出ホルモンの使用

簡単なプタの採血法

**No. 44 平成6年3月20日発行**

毒性試験と遺伝的品質コントロール

遺伝子導入マウスを用いた突然変異誘発試験の方法に関する賛否両論

近交系およびアウトブレッッド系げっ歯類にみられる疾病の多様性

ウサギにおけるコロナウイルス抗体の保有率

マウスにおける飼育因子と年齢依存性アミロイド症

パラインフルエンザウイルス3型に実験感染させ

たモルモットにおける気道過敏反応の経時的研究  
実験用ビーグルイヌにおける個体同志の遊びと攻撃行動に対するケージの大きさの影響

実験用近交系ラットおよびマウスの遺伝的モニタリングのための DNA フィンガープリント

チンチラからの大量採血法

**No. 45 平成6年5月20日発行**

実験用ブタ飼育および研究技術の基本

実験用ラットの集団飼育システムの改善—予報

小型実験動物の苦痛のコントロール

ゴールデンシリアンハムスターの体表面積(BSAs)

算出のための新しい計算式

マウスの長期飼育を必要とする研究に関連する飼育方法と健康問題

げっ歯類を用いた感染防御試験における動物福祉の指針：げっ歯類を用いた感染防御試験特別調査委員会報告

PCRを用いた Kilham ラットウイルスの診断

PCRを用いたネズミ RNA ウイルスの検出

日本実験動物協会から送付された小冊子として、イヌ・ネコの生産に関するアンケート調査報告書(平成5年6月)、英国：実験動物の輸送に関する取扱い指針(平成5年8月)、実験動物および鳥類からの血液採取 第1報(平成5年8月)があります。

\*\*\*\*\*

## 他の研究会からの送付物の紹介

関西実験動物研究会、静岡実験動物研究会、九州実験動物研究会から会報が送付されていますので紹介いたします。

**関西実験動物研究会報(12号)平成5年5月発行**

巻頭言：関西実験動物研究会10周年を迎えて

-----高 高 宏彰  
(第29回研究会)学術講演会：ミュータントマウスを用いた精細胞分化の解析-----西宗 義武  
赤血球の連鎖形式と $\gamma$ -グロブリン-----志賀 健  
(第30回研究会)講演会：ヒマラヤ高地でのニホンザルの生理的諸事象-----松林 清明  
ニホンザルの生殖生理学的特性と室内人工繁殖の試み-----鳥居 隆三